

2021年12月吉日

支援者の皆様

認定特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会
会長 仲田 順和
理事長 田中 重勝

平素は当協議会の活動にご理解、ご支援を賜り、まことにありがとうございます。心より感謝申し上げます。

2019年に実施しましたクラウドファンディング

『いつか、パパママになりたい。若年性がん患者さんの夢を未来へ』
の節は、大変お世話になり、ありがとうございました。722名の方から13,863,000円もの多額の寄付を頂きました。当時、資金枯渇のために難治性血液疾患の患者さんの妊孕性温存を経済的に支援する「こうのとりマリーン基金」の存続が、非常に困難な状況でしたが、皆様の温かいご支援のおかげで運営を継続することができ、多くの患者さんの妊孕性温存に役立てて頂いております。

妊孕性温存治療につきましては当協議会をはじめ各種関連団体が国や関係機関に働きかけ続けてきた結果、2021年4月からは、厚生労働省の妊孕性温存療法研究事業として公的助成が実現し、更に将来的には健康保険が適用される見通しも出てまいりました。しかしながら相変わらず採取した精子や卵子の継続保存料は対象外であったり、施行元年に当たる今年に関しては自治体により体制に差があるなど、まだまだ手放しで歓迎できる状況ではなく、今後も注意深くその行く末を見守ってまいりたいと存じます。公的助成の導入により「こうのとりマリーン基金」の助成申請件数は大幅に減少しましたが、今後も精子や卵子の保存料など公的助成でカバーしきれない部分についての助成は続けてまいります。皆様のご厚志が直接患者さんに伝わりますよう、今後も私どもの使命を果たすべく取り組んでまいり所存です。今後ともどうかよろしくごお願い申し上げます。

メールでのご連絡で大変失礼かと存じますが、当協議会の2020年度の活動の概略を添付資料にまとめました。お時間がございましたらお目通し下さい。

コロナ禍が一時的にせよ沈静化している様子です。しかしながら専門家は揃って第6波の到来を警告しております。皆様におかれましてはくれぐれもご自愛ください。

《添付資料のご案内》

- 一、全国骨髄バンク推進連絡協議会 2020年度活動報告
- 一、こうのとりマリーン基金の助成を受けた方からのメッセージ

以上